

黄金タッグが織りなす熱演を倉吉で!

広上淳一×京都市交響楽団

ホルン奏者として倉吉市出身の小椋順二さんが在籍!

倉吉スペシャル演奏会

10月14日(月・祝)、4年ぶりに倉吉未来中心にオーケストラサウンドが響き渡ります。

やってくるのは、飛ぶ鳥を落とす勢いで急成長を遂げ、演奏会は完売続きの「京都市交響楽団」とその原動力となった名指揮者「広上淳一」さんです。

“スペシャル演奏会”と銘打ってお届けする今回の演奏会をご紹介します。

やってくるのは日本オーケストラ界屈指の黄金タッグ!

「京都市交響楽団」は1956年に創立された、60年以上の歴史を誇るオーケストラです。これまで数々の名演を繰り広げてきましたが、2008年に名指揮者・広上淳一さんを常任指揮者に迎えてからの京響の活躍はまさに快進撃。演奏会は完売が続き、遂には2015年、日本クラシック音楽界で最も栄誉ある「第46回サントリー音楽賞」を“広上×京響”の組み合わせで受賞。その長い歴史の中で、指揮者とオーケストラの組み合わせで受賞した例はわずか3例のみ。“広上×京響”はまさに日本オーケストラ界が誇る黄金タッグといえるでしょう。

広上淳一、渾身のチャイコフスキープログラム!

今回の演奏会は、なんと広上淳一さん自らが選らばれた名曲プログラムをお届け!

京響の担当者の方によると、地震による被災～復興の話が聞かれた広上さんが「元気を届けるために、ぜひこの曲で倉吉に!」と自ら選曲されたのが、今回のチャイコフスキープログラムです。

♪軽やかさと重厚さを兼ね備えた名曲

♪力強さと華麗さを兼ね備えた名曲

チャイコフスキー「ヴァイオリン協奏曲」 チャイコフスキー「交響曲第4番」



広上淳一さん



南紫音さん

「ヴァイオリン協奏曲」でソリストを務めるのは、

2015年に難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールで第2位を受賞し、

今、最も期待されている若手実力派ヴァイオリニストである南紫音さんです。

とってもとってもおトクな学生料金!

こんなに素敵で貴重な演奏会を一人でも多くの学生の皆様にお楽しみいただきたい!

そんな思いからおトクな学生料金をご用意しています。学生さんの特権をぜひご利用ください。

小学生・中学生 1,000円 高校生・大学生 2,000円

倉吉と京都がつながる特別展示「時の響」も同時開催!

4月、約200年ぶりとなる天皇陛下の生前退位が行われました。実は、このことと倉吉に深いつながりがあることをご存知ですか?約200年前に生前退位をされたのが時の光格天皇でしたが、その母が倉吉出身の「大江磐代君」なのです。倉吉に生まれ、ついには京都で朝廷のトップである天皇の母に上り詰めた「大江磐代君」の数奇な運命にスポットを当て、“山陰の小京都・倉吉”と“千年の都・京都”が歴史・文化でつながる特別展示を、京都の文化遺産アーカイブに取り組み大日本印刷株式会社の協力の下、開催します。なかには、中国地方初公開の特別VR体験も!



倉吉絵図(倉吉博物館所蔵)

みらいアートギャラリー特別展「時の響」

10月14日(月・祝) 10:00~17:00

倉吉未来中心 アトリウムにて

※演奏会チケット無しでもご覧いただけます。



「洛中洛外図屏風 池田本(林原美術館所蔵)」の伝匠表。

重要文化財「洛中洛外図屏風 池田本」
紙本金地・着色 縦1,742×横3,780mm 1620年 林原美術館所蔵

鳥取県初公開!



4K高精細映像・特別上映

光格天皇、大江磐代君ゆかりの「皇親院門跡」を4Kにて特別上映!
[瑞春大僧正900年遠忌記念作品皇親院門跡 華厳なる殿内] (約10分)

中国地方初公開!



超高精細 VR・特別体験

世界遺産園宝、仁和寺「金堂」の超高精細VRコンテンツを体験!

中国地方初公開!

ウラ面もご覧ください。



広上 淳一 Junichi HIROKAMI

京響第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学び、1984年26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝し、1986年以降、世界中のメジャーなオーケストラへ客演を展開。1991～95年ノール・ショピング響、1998～00年リンブルク響の各首席指揮者、1997～01年ロイヤル・リヴァプール・フィル首席客演指揮者、1991～00年日本フィル正指揮者を歴任する傍ら、コンセルト・ボウ管、ウィーン響等に定期的に客演。2006～08年米国コロムビア響音楽監督。オペラの分野でも国内外で活躍し、最近では日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》等が記憶に新しい。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。東京音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授、2008年4月から京響第12代常任指揮者、2014年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任。2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。

南 紫音

Sion MINAMI



1989年北九州市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに篠崎永育、篠崎美樹、西和田ゆう、原田幸一郎の各氏に師事。現在、ドイツのハノーファーに在住し、クシシトフ・ヴェグジンに師事。2000年、第54回全日本学生音楽コンクール福岡大会小学校の部第1位。同年、第10回日本クラシック音楽コンクール全国大会小学校の部第2位（1位なし）。2002年、第56回全日本学生音楽コンクール福岡大会中学校の部第1位。2004年イタリア・ナポリで行われた第13回アルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールで15歳にして優勝。2005年イタリア・デビューを果たす。同年10月、ロン・ティボー国際音楽コンクール第2位を受賞すると共に、リサイタルで最も優秀な演奏をした者に贈られる「サセム賞」も受賞した。2015年には、世界でも難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位を受賞した。これまでに国内主要オーケストラをはじめ、フランス国立管弦楽団、リール国立管弦楽団、サンカルロ歌劇場管弦楽団、ミラノ・スカラ座室内合奏団とも協演、スペイン・ビルバオ交響楽団との日本ツアーも好評を博した。CD録音も積極的に行い、2008年3月にユニバーサルミュージックの新レーベル「UCJ ジャパン」の第一弾アーティストとしてCDデビューも果たし、これまでに3枚のCDをリリースしている。



京都市交響楽団

Kyoto Symphony Orchestra

倉吉市出身の「小椋順二」さんが
ホルン奏者として在籍！



日本唯一の自治体直営オーケストラとして1966年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」及び広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には広上淳一の指揮のもと18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回（2016年度）音楽クリティック・クラブ賞」本賞を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

《公演・チケットに関するお問合せ》

倉吉未来中心 ☎ 0858(23)5391 / ✉ mirai@miraichushin.jp